

羽合小のことをみんなで考えました

5月14日に羽合小学校運営協議会を開催しました。聞き慣れないこの会議は、地域の代表の方、PTA会長、元校長先生の有識者、学校ボランティアの方などの委員からなり、校長が作成した学校運営の基本方針を承認したり、学校運営について、湯梨浜町教育委員会や校長に意見を述べたりすることが主な役割になる会議です。

湯梨浜町立小・中学校では、平成30年度より「コミュニティ・スクール」という制度を導入しています。この運営協議会も、この制度の中に位置づけられている会議になります。

地域の人々と教育の目標を共有し、地域と一体となって子どもたちを育むこと、学校を核とした地域づくりを推進し、コミュニティの活性化を図ることができると期待され導入された制度です。

運営協議会で出された意見を紹介します。

○子どもたちの様子について

- ・昨年度不登校傾向だった子どもが今年度は元気に登校している。
- ・今年度は登校班と一緒に歩いているが、登校の決まりが良い。
- ・登校班に遅れる子は、決まっている。
- ・中学生の登校時のマナーが良い。小学生がそれを習うと良いと思っている。

○実技教科、朝学習、ふるさと教育など

学校が必要とする学習場面で、地域が協力できると良い。「この時期にこんな学習をするので手伝ってほしい」というニーズが分かると、学校運営協議会として、組織やサークル等に当たり、コーディネートをすることができる。

○PTA親子環境整備の時に、ボランティアも参加し、その姿を保護者にも見て知っていただきたい。

○羽合の子どもに、こんな子どもになってほしい。

- ・教育目標の「やさしく、かしこく、たくましく」の中でも「やさしい」を大事にしたい。
- ・「ゆりはま」が語れる子になってほしい。
- ・まわりの人や地域に迷惑をかけない子になってほしい。

○教師が子どもと向き合う時間が増えると、子どもに力がつくと思う。教師が忙しすぎはしないか。

コミュニティ・スクール導入で目指す姿

- ◇保護者や地域に信頼される学校づくり
- ◇「本音」が語れる
- ◇地域が学校の応援団
- ◇学校の活性化、教職員の意識改革
- ◇子どもの育ちに対して、学校や地域の責任を明確にしながら一緒になって考えて行動
- ◇生涯学習、地域のつながり、地域の活性化



貴重な多くの意見をいただきました。保護者や地域の方に引き続き協力いただきながら学校経営を行っていかうと思っております。